

自然体験活動指導者（NEAL）養成制度 ～指導者養成方法のご案内～

2022（令和4）年3月31日
全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部会

目 次

- | | |
|-------------------------------|---------|
| 1. ごあいさつ・創設趣旨 | ・・・P.2 |
| 2. 自然体験活動指導者（NEAL）とは | ・・・P.3 |
| 3. 自然体験活動指導者（NEAL）養成制度導入のメリット | ・・・P.4 |
| 4. 自然体験活動指導者（NEAL）を養成するには | ・・・P.5 |
| ① 指導者養成講習の開設方法 | |
| ② 指導者養成団体 登録申請方法と認定料 | |
| ② 指導者養成講習 開催方法 | |
| ③ 自然体験活動指導者 登録申請方法 | |
| 5. わたしたちについて | ・・・P.12 |

全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部会

東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内

NPO 法人自然体験活動推進協議会 気付

E-mail: info@neal.gr.jp TEL: 03-5452-4058 FAX: 03-6407-8241 HP: <http://neal.gr.jp/>

1. ごあいさつ・創設趣旨

ごあいさつ

青少年の「生きる力」を育み、健やかな心と体、人と人とのより良い関係を築いていく上で、自然体験をはじめとした体験活動を経験することは、青少年の自立にとって非常に重要なことです。人間は自然の一部であり、自然に生かされていることを実感できるのが自然体験活動です。かつては様々な体験活動を行う機会が日常的にありましたが、現代ではその機会に恵まれておらず、体験活動の機会を意識的に提供する必要性が求められています。そのためには、正しい知識と経験を有する指導者による指導が必要です。

今回、官民一体となった体験活動に関する新しい指導者制度「全国体験活動指導者認定制度」を創設しました。本制度によって養成された指導者の皆様が積極的な活動を展開して下さるようお願いしています。

全国体験活動指導者認定委員会
委員長 鈴木 恒夫（元文部科学大臣）

創設趣旨

子どもの頃の体験は人生の基盤であり、豊富な体験が、大人になってからのモラル、やる気などの「生きる力」を養成しています。しかしながら、近年、体力低下やいじめ・自殺の多発、不登校・ひきこもりの増加など、青少年の抱える課題が問題となっており、それらは子どもの頃の体験の機会が減少していることと無縁ではありません。

青少年の抱える課題を解消し、健全な育成を図るためには、家庭、地域、学校のあらゆる場で、体験活動の機会を提供することが極めて重要です。「全国体験活動指導者認定委員会」は、青少年をはじめとした多くの人々の体験活動を推進するために創設されました。



2. 自然体験活動指導者（NEAL）とは

自然体験活動には、キャンプ、登山、ハイキング、カヤック、自然観察、農林漁業体験など、多様なフィールドで様々な活動があります。自然の中で感性を磨いたり、土地の伝統文化や食文化に触れたり、専門的な知識と技術をもって自然体験活動の普及や振興に貢献するのが「自然体験活動指導者」です。

自然体験活動指導者として、様々なフィールドで自然の素晴らしさを伝えることができるとともに、全国の指導者が集う研修会や交流会に参加でき、活動団体や専門分野を超えたネットワークづくりや情報交換が可能です。

指導者として登録するには、指導者養成団体登録している団体が開催する自然体験活動指導者養成講習を受講し、修了する必要があります。

<指導者種別と指導者像>

自然体験活動指導者には、専門的な知識や経験に基づいて様々な資格があります。なお、リーダーは満18歳以上の方が登録可能です（ただし、講習受講時の年齢に縛りはありません）。



自然体験活動指導者 ※終身登録

NEALリーダー

自然体験活動プログラムの指導にあたる



自然体験活動上級指導者 ※3年毎の更新制

NEALインストラクター

自然体験活動プログラムの企画・実施者となるとともに、NEALリーダーを指導する



自然体験活動総括指導者 ※3年毎の更新制

NEALコーディネーター

自然体験活動事業の企画・実施の総括責任者となるとともに、NEALリーダー及びNEALインストラクターを指導する

指導者養成団体登録者数・指導者数（2021年3月31日現在）

[指導者養成団体登録者数] 98団体（うち、大学・専門学校 12団体）

[指導者数] リーダー：18,827名 インストラクター：257名 コーディネーター：168名

3. 自然体験活動指導者（NEAL）養成制度導入のメリット

自然体験活動指導者（NEAL）養成制度導入の主なメリットは以下の通りです。自然体験活動指導者（NEAL）養成制度を導入いただくことは、導入される学校（大学・短期大学・専門学校）及び講習を受講される学生それぞれにとってメリットを感じていただけたと考えています。

学校（大学・短期大学・専門学校）にとってのメリット

- ① 指導者養成カリキュラムを取り入れることで、自然体験活動の専門的な知識や技能を身につけた教員や保育者を養成することができます。（指導用テキストを無料でお渡しします）
- ② 開講科目によっては新規科目を開設しなくても指導者養成を行うことができるので、負担が少なく指導者資格を出すことができます。（教員・保育者養成校は科目互換が可能です）
- ③ 入試対策として「自然体験活動の指導者資格が取得できる」という特徴をアピールできます。

自然体験活動指導者（NEAL）養成制度を導入いただいている学校様からお寄せいただいた声

- ・ 従来の受動的な授業・学習とは真逆の積極的・能動的な授業・学習ができ、学生が能動的に学ぶことによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験などの汎用的能力の向上や育成をすることができました。ただ自然体験活動するだけの時代は終わり、自然体験活動そのものの質も問われる時代です。養成課程の中で、多様な価値観や、その場の状況や相手の価値観を理解しながら自分の考えをまとめて発言したり、相手にふさわしい表現で伝えたり、答えのない課題に向き合い他人と協調しながら解決することの切欠にもなっているように思います。

学生にとってのメリット

- ① 学校の授業や実習で、自然体験活動の専門的な知識や技能が学べ、指導者資格も取得することができます。
- ② 資格欄に「自然体験活動指導者（NEAL リーダー）取得」と記載できるので、就職活動の際に役立ちます。
- ③ NEAL リーダーの登録費は通常 5,000 円ですが、学生は 3,000 円で登録できます。なお、終身資格のため、以後の更新料などはかかりません。

自然体験活動指導者（NEAL）養成講習を受講いただいた学生様からお寄せいただいた声

- ・ 養成講習のなかで自力で火をおこすなどの苦勞を知ったことにより、普段の生活がいかに便利で楽な生活を過ごしていたかを考えさせられました。これからは NEAL リーダー資格を生かして、今回知ったことを子どもたちに伝えていきたいです。
- ・ 私は今まで協力し、何かを成し遂げることが苦手でした。しかし、この体験を通して協力し合う大切さ、仲間を思う気持ちを学ぶことができました。自然を通して学ぶことで仲間とのきずなも深まり、良い経験になったと感じます。

4. 自然体験活動指導者（NEAL）を養成するには

① 指導者養成講習の開設方法

自然体験活動指導者（NEAL）の養成方法は、「A. 学校が指導者養成団体となって開催する場合」と「B. 学外の指導者養成団体と連携して開催する場合」の方法がありますので、学校のカリキュラム等の実情に合わせて無理なく指導者養成を導入していただくことができます。

A. 学校が指導者養成団体となって開催する場合

自然体験活動指導者を養成するには、以下の4つの手順が必要です。

STEP. 1 NEAL 指導者養成団体登録をする

STEP. 2 NEAL 指導者養成講習を開催する

STEP. 3 NEAL 指導者登録申請をする

STEP. 4 NEAL 指導者登録完了

大学・短期大学・専門学校の皆様に養成団体としてご登録いただく方法として、たとえば以下の方法があります。

- ① 学校（大学・短期大学・専門学校）で養成団体としてご登録いただく
- ② 学科で養成団体としてご登録いただく
- ③ 研究室で養成団体としてご登録いただく

授業や実習で開催することが難しい場合は、学校のエクステンション・プログラムとして開催することも可能です。

B. 学外の指導者養成団体と連携して開催する場合

学校が養成団体にご登録いただかなくても、学外の養成団体と共同もしくは委託して指導者養成講習を開催いただくことも可能です。

協力して開催する NEAL 指導者養成団体を探すには、下記の URL より、現在ご登録いただいている NEAL 指導者養成団体一覧をご確認いただくことができます。

[養成団体一覧] https://neal.gr.jp/download/neal_youseidantai.pdf

STEP. 1 協力して開催する NEAL 指導者養成団体を探す

STEP. 2 学内カリキュラムの編成および講師依頼（主任講師と相談しながら）

STEP. 3 NEAL 指導者養成講習を開催する

STEP. 4 NEAL 指導者登録申請をする

STEP. 5 NEAL 指導者登録完了

② 指導者養成団体登録申請方法と認定料

指導者養成団体に登録するには、申請書を提出のうえ、自然体験活動部会（会議）にて審査・承認される必要があります。なお、養成団体の登録には毎年度3万円の登録費を頂戴いたします。

養成団体登録申請方法

養成団体登録希望団体

申請書を揃えて NEAL 事務局へ提出する

◇必要書類

様式1-1「養成団体認定申請書」、様式1-2「養成団体概要」

様式2「年間養成講習計画」、様式3「養成講習実施申請書」

※こちらからダウンロード可能です <https://neal.gr.jp/seminar.html>



自然体験活動部会

年3回行われる自然体験活動部会、もしくは年に複数回行われる書面による自然体験活動部会にて審査・承認

自然体験活動部会

養成団体認定証および請求書の発送

養成団体の認定要件

養成団体の認定要件として、次の要件をすべて満たしている事が必要です。

- ① 養成団体が行う指導者養成講習及び指導者更新講習が養成カリキュラムに沿っていること。
- ② 指導者養成講習及び指導者更新講習を行うに必要な事務所及び専従職員を有すること。
- ③ 指導者養成講習及び指導者更新講習を行うに当たって、傷害保険及び賠償責任保険に加入していること。
- ④ 主任講師（講習管理者）*が、原則として1人以上養成団体に専従職員として所属していること。
- ⑤ 毎年度、認定料を納付できること。

※主任講師（講習管理者）とは

主任講師養成会（受講資格：コーディネーター）において合格した者が得られる「役割」です。主任講師（講習管理者）は講習会において中心的な役割を担って指導に当たる指導者であり、役割は以下の通りです。

【主任講師（講習管理者）の役割】

- ・養成カリキュラムに従って、養成講習の企画・運営を行う。
- ・概論において、原則として全日程に参加し、養成講習全体の監督・確認を行う。
- ・概論の「ガイダンス」を担当する。
- ・概論の「修了試験」又は「履修試験」の責任者となる。
- ・演習において、履修の確認者となる。

なお、主任講師（講習管理者）をご紹介することも可能ですので、ご希望の場合は事務局までお問合せください。

③ 指導者養成講習 開催方法

自然体験活動指導者の養成講習は、自然体験活動指導者養成カリキュラムに則って主任講師（講習管理者）監督のもと実施されます。「概論」と「演習」で構成され、概論では講義と実技が、演習では実務経験（OJT）が中心に実施されます。また、各概論受講後には修了試験が実施され、リーダーは概論Ⅰ修了後に、インストラクター、コーディネーターは演習修了後に資格を付与します。

自然体験活動指導者養成カリキュラムとは

リーダー、インストラクター、コーディネーターを養成することができる「自然体験活動指導者養成カリキュラム」は以下の通り定められています。例えばリーダーの場合、認定試験も含め、全8科目合計18時間を履修いただくことでリーダー資格の取得が可能となります。

	リーダー	インストラクター		コーディネーター		
	概論Ⅰ	演習Ⅰ	概論Ⅱ	演習Ⅱ	概論Ⅲ	演習Ⅲ
ガイダンス	1.0時間	-	1.0時間	-	1.0時間	-
青少年教育における体験活動	1.5時間	-	-	-	1.5時間	-
学校教育における体験活動	-	-	1.5時間	-	1.5時間	-
自然体験活動の特質	3.0時間	3.0時間	1.5時間	3.0時間	3.0時間	3.0時間
対象者理解	1.5時間	3.0時間	3.0時間	3.0時間	4.5時間	4.5時間
自然体験活動の指導	1.5時間	3.0時間	3.0時間	3.0時間	3.0時間	3.0時間
自然体験活動の技術	6.0時間	6.0時間	3.0時間	4.5時間	-	-
自然体験活動の安全管理	3.0時間	3.0時間	3.0時間	7.5時間	3.0時間	3.0時間
自然体験活動の企画・運営	-	-	6.0時間	6.0時間	9.0時間	9.0時間
認定試験	0.5時間	-	0.5時間	-	0.5時間	-
総計	18.0時間	18.0時間	22.5時間	27.0時間	27.0時間	22.5時間

【参考】NEAL リーダー養成カリキュラムの各科目の目標及び活動例

青少年教育における自然体験活動 (1.5 時間)

「目標」

青少年教育における体験活動の意義を理解する。

- ①青少年教育の目的・目標を理解する。
- ②青少年教育の内容と青少年の問題や青少年教育の現代的な課題を理解する。
- ③青少年教育の方法と体験活動の「定義と分類」「意義と効果」について理解する。

「活動例」

青少年教育における自然体験活動の重要性、社会教育、学校教育の事例

自然体験活動の特質 (3.0 時間)

「目標」

- (1) 地域の自然体験活動の特色を理解する。
- (2) 自然体験活動の意義と課題を理解する。
 - ①自然体験活動の意義を理解する。
 - ②自然体験活動の課題を理解する。

「活動例」

五感を活用した自然発見、自らが住む地域の歴史・動植物の特徴の理解、気候・地質・生物多様性

対象者理解 (1.5 時間)

「目標」

対象者の特徴を理解する。

- ①対象者理解の必要性と方法を理解する。
- ②各年齢期の特徴を理解する。
- ③対象者への配慮事項を理解する。

「活動例」

山村留学事業の事例紹介、対象者理解の方法と考え方

自然体験活動の指導 (1.5 時間)

「目標」

自然体験活動指導者としての基本的な心構えを理解する。

- ①基本的な心構えを理解する。
- ②倫理観について理解する。

「活動例」

身近な自然体験活動の事例紹介、指導者としての基本的な心構え

自然体験活動の技術 (6.0 時間)

「目標」

- (1) 様々な自然体験活動のプログラムを体験する。
- (2) 様々な自然体験活動にはそれぞれ必要な基本的な技術や適切な活動場所があることを理解する。
- (3) 自然体験活動のプログラムの流れや構成を理解する。

「活動例」

理論と実体験 (ロープワーク、メンテナンス、火起こしなど)、野外炊事プログラム体験

自然体験活動の安全管理 (3.0 時間)

「目標」

- (1) 自然体験活動における基本的な安全管理を理解する。
- (2) 応急処置を理解する。

「活動例」

安全管理の考え方、保険、服装&用具、下見の実際、ヒューマンエラー対策、危険予知トレーニング

【養成講習の開催にお役立ていただくため、以下の制度を設けています。】

養成講習参加者用テキストの無料配布

講習開催時にテキストとしてご利用いただけるよう、参加者用テキストをご用意し、データにより無料配布しております。なお、ご利用については任意であり、本テキストを利用せずに講習を開催いただいても大丈夫です。

2020年度現在、発行されているテキストはリーダー及びインストラクター対象のものになります。また、コーディネーターについては作成中であり、完成次第公開する予定です。

※リーダー養成講習参加者用テキスト サンプルはこちらからご覧いただけます。

→https://neal.gr.jp/download/neal_leadertext.saml.pdf



科目互換による一部科目の免除

自然体験活動部会ではリーダー養成講習において、下記資格との科目互換が認定されています。これにより、該当する受講者のリーダー養成講習（合計18時間）におけるカリキュラムの一部免除が可能となります。

科目互換対象資格

下記資格を取得している者もしくは取得できる教育養成課程に在籍している者、養成講座受講者に限り、履修科目の一部免除を可能とする。

	科目名	小学校教諭免許 幼稚園教諭免許 保育士資格	中学校教諭免許 高等学校教諭免許	CONE リーダー RAC リーダー	ネイチャー ゲームリーダー
1	ガイダンス	1.0	1.0	1.0	1.0
2	青少年教育における体験活動	免除	免除	1.5	1.5
3	自然体験活動の特質	3.0	3.0	免除	1.0 (2時間免除)
4	対象者理解	免除	免除	免除	1.5
5	自然体験活動の指導	免除	免除	免除	免除
6	自然体験活動の技術	1.5 (4.5時間免除)	6.0	免除	免除
7	自然体験活動の安全管理	3.0	3.0	免除	1.5
8	認定試験	0.5	0.5	0.5	0.5
	合計時間	9.0 (9時間免除)	13.5 (4.5時間免除)	3.0 (15時間免除)	7.0 (11時間免除)

養成講習の開催例

＜学校の授業科目に組み込む場合＞

1科目もしくは複数科目の授業科目に、自然体験活動指導者養成カリキュラムを組み込んで開催する。なお、授業を欠席した場合は、別途補講が必要。

授業科目での実施例（1科目）

回	タイトル	時間	場所	内容
1	ガイダンス	1.0	学内	認定制度の仕組みと指導者の役割を学ぶ
2	青少年教育における体験活動	1.5	学内	青少年の体験活動の現状と課題を学ぶ
3	青少年の自然体験活動の実際*	-	学内	現場の指導者から活動の実際について話を聞く
4	自然体験活動の指導	1.5	学内	自然体験活動の指導に関する基礎理論を学ぶ
5	対象者理解	1.5	学内	青少年期の発達の特徴と指導のポイントを学ぶ
6	自然体験活動の安全管理①	1.5	学内	基本的な安全管理や応急処置を学ぶ
7	自然体験活動の安全管理②	1.5	学内	自然体験活動に潜む様々な危険を学ぶ
8	自然体験活動の特質①	1.5	学外	地域の自然を散策する
9	自然体験活動の特質②	1.5	学内	自然と人とのつながりや営みについて考える
10	自然体験活動の技術①	3.0	学外	「自然とふれあうアクティビティ」を体験する
11				
12	自然体験活動の技術②	3.0	学内	「ネイチャークラフト」を体験する
13				
14	振り返り*・認定試験	0.5	学内	学習内容の理解度の判定
15	授業のまとめ*	-	学内	授業のまとめと申請手続き（合格者のみ）

（備考）*はNEAL講習の時間には含まれない。「自然体験活動の技術」は2コマ連続で実施。

＜実習に組み込む場合＞

自然体験活動指導者養成カリキュラムを組み込んだ実習を開催。設定する実習期間によるが、例えば2泊3日程度の短期間で受講することが可能。

実習での実施例（2泊3日）

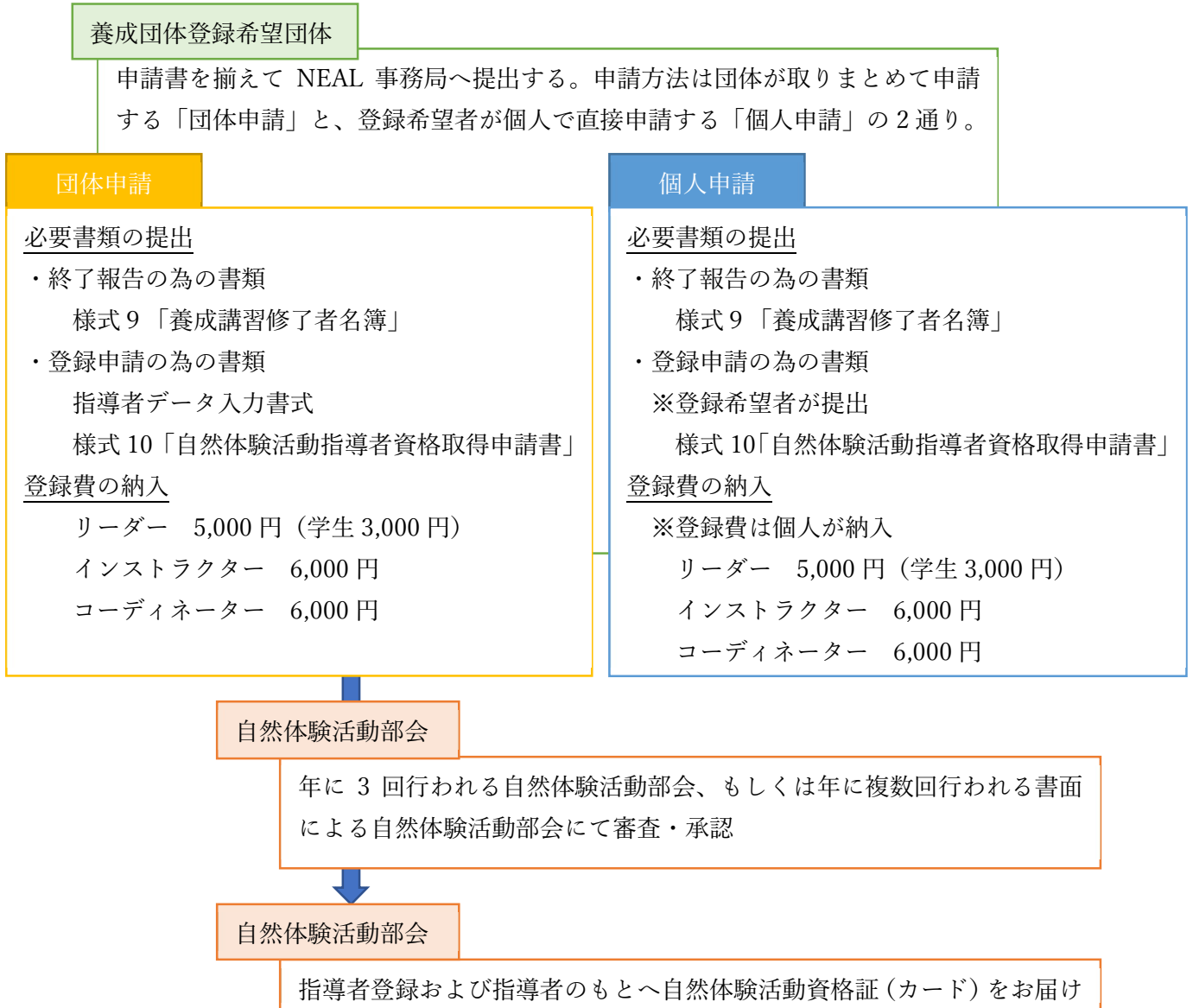
	1日目	2日目	3日目
午前		<ul style="list-style-type: none"> 起床、洗面、清掃、朝食 自然体験活動の指導(1.5) 対象者理解(1.5) 	<ul style="list-style-type: none"> 起床、洗面、清掃、朝食 自然体験活動の技術②「クラフト」(3.0)
午後	<ul style="list-style-type: none"> 開講式 ガイダンス(1.0) 青少年教育における体験活動(1.5) 	<ul style="list-style-type: none"> 昼食 自然体験活動の特質「自然散策」(3.0) 自然体験活動の安全管理①(1.5) 	<ul style="list-style-type: none"> 昼食 認定試験(0.5) 振り返り 閉講式
夜間	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験活動の技術①「野外炊事」(3.0) 振り返り、入浴、自由時間 就寝 	<ul style="list-style-type: none"> 夕食 自然体験活動の安全管理②(1.5) 振り返り、入浴、自由時間 就寝 	

（備考）認定試験合格者は後日申請手続きを行う。

④ 自然体験活動指導者 登録申請方法

指導者養成講習終了後、自然体験活動指導者へご登録いただく為に以下の通り申請手続きいただく必要があります。

【終了報告および登録申請手続きについて】



※ 申請書はこちらからダウンロード可能です <https://neal.gr.jp/seminar.html>

※ 申請手続きは養成講習終了後 1 か月以内にお願いします。

ただし、「科目互換による一部科目の免除」により受講した場合は、教育養成課程もしくは養成講座のすべての課程が終了した後に、登録申請手続き及び登録費の納入手続きをお願いします。



5. わたしたちについて

自然体験活動指導者養成制度では、全国体験活動指導者認定委員会（認定委員会）を設け、その下に自然体験活動部会（自然部会）を設置しています。

◎ 全国体験活動指導者認定委員会

青少年をはじめとする多くの人々の体験活動を推進するため、体験活動にかかる指導者の資質と指導力の向上を図ることを目的としています。

国立青少年教育振興機構をはじめとした体験活動に関する関係機関・団体、有識者等からなり、主に養成団体・指導者の資格認定や登録証の発行を行います。

◎ 自然体験活動部会

全国体験活動指導者認定委員会が設置し、主に養成団体や指導者資格の認定審査、自然体験活動指導者の登録、有資格者の活動促進等の業務を行います。

自然体験活動部会は自然体験活動推進協議会をはじめとした自然体験活動に関する関係機関・団体、有識者等から構成されています。

・指導者養成団体と自然体験活動指導者

指導者養成団体には、独立行政法人国立青少年教育振興機構や NPO 法人自然体験活動推進協議会をはじめ、様々な団体が加盟しています。

※加盟団体一覧はこちらよりご確認ください

https://neal.gr.jp/download/neal_youseidantai.pdf



指導者養成団体登録者数・指導者数（2021年3月31日現在）

指導者養成団体登録者数 98 団体（うち、大学・専門学校 12 団体）

指導者数 リーダー18,827名 インストラクター257名 コーディネーター168名



全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部会

東京都渋谷区代々木神園町 3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内

NPO 法人自然体験活動推進協議会 気付

TEL: 03-5452-4058 FAX: 03-6407-8241 E-mail: info@neal.gr.jp

HP: <http://neal.gr.jp/>